

## 動 向 調 査

平成29年7月～9月期

●調査依頼5,261社 ●有効回答企業883社

信用保証をご利用いただいている皆さまの景況・金融動向を把握するために、国の機関である日本政策金融公庫と共同で「信用保証利用企業動向調査」を四半期ごとに実施しています。ここでは東京都内信用保証利用企業の平成29年7月～9月期の調査結果についてお知らせします。

## 景気動向指数DIとは

景気動向指数DIとは、「好転した企業の割合」から「悪化した企業の割合」を引いて算出するもので、「好転」傾向と「悪化」傾向のどちらが強いのか、いわば綱引きをして景気動向を判断する指数です。また、このデータは「季節調整値」を利用しています。この季節調整値は、季節商品等の影響などの季節的な要因を取り除いた景気動向を判断するための数値です。

## [概 況]

景況は、一部にやや弱い動きがみられるものの、先行きについては持ち直しの見込み。  
資金繰りは、改善傾向に一服感がみられる。

【「生産・売上」「採算」「資金繰り」総合値グラフ】



## ◎総合

今期(平成29年7月～9月期)調査による景気動向指数(総合値)は、「生産・売上」が前期比-3.4ポイントの5.6とやや悪化。「採算」は前期比+3.8ポイントの1.6とやや改善し2期連続でプラス値での着地となった。「資金繰り」については前期比-1.0ポイントの▲3.3とやや悪化した。

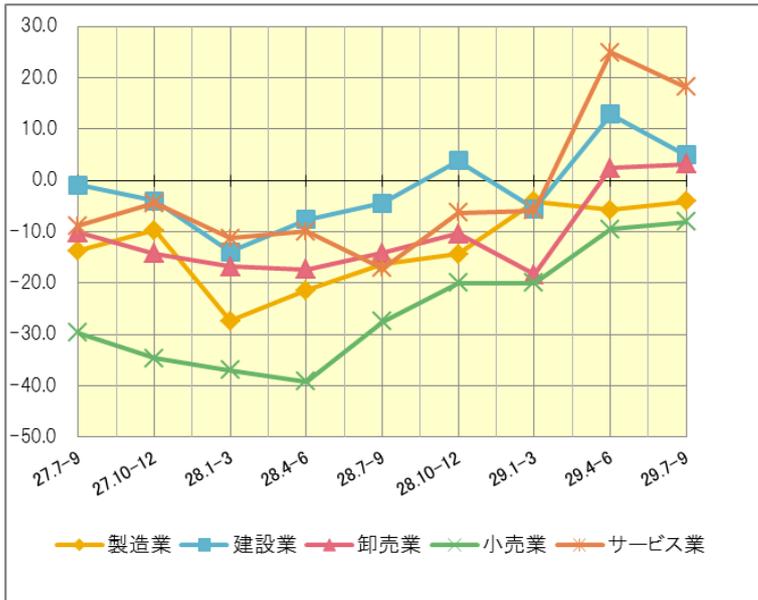
今後3か月の予測値(来期予測)は、「生産・売上」で17.7、「採算」は11.5、「資金繰り」は2.1といずれもプラス値の予測となっている。

「生産・売上」「採算」「資金繰り」実績・予測値(総合)

	生産・売上	採算	資金繰り
前期末予測値	20.9	12.6	2.7
今期実績	5.6	1.6	-3.3
来期予測	17.7	11.5	2.1

## ●生産・売上

【業種別「生産・売上」グラフ】



今期の生産・売上 DI(総合値)は 5.6(前期比 -3.4 ポイント)とやや悪化した。

業種別では、建設業(4.9(前期比-8.0 ポイント))とサービス業(18.2(前期比-6.7 ポイント))の悪化が目立ったが、卸売業とともにプラス値での着地となった。製造業(▲4.1(前期比+1.7 ポイント))と小売業(▲8.1(前期比+1.4 ポイント))は、マイナス値であったが、いずれも前期に比べてやや改善した。

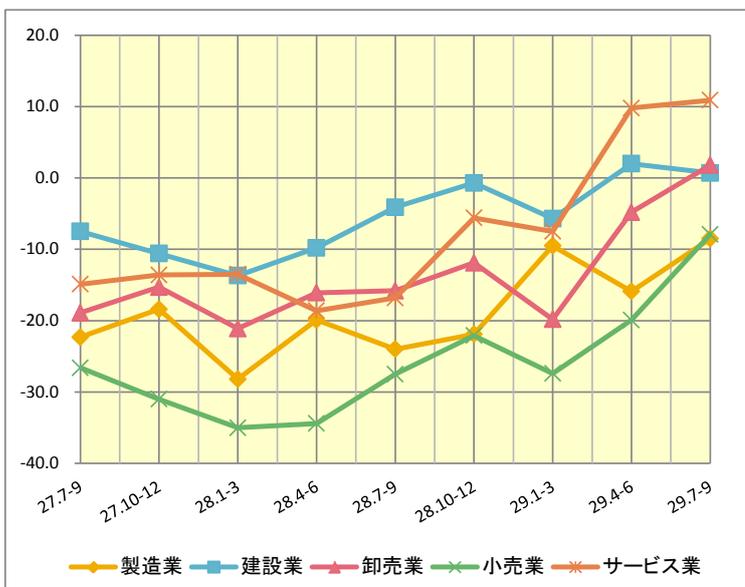
来期は全業種でプラス値の予測であり、いずれの業種においても今期より改善を見込んでいる。

業種別「生産・売上」実績・予測値

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合
前期末予測値	1.8	25.3	18.8	9.5	32.5	20.9
今期実績	-4.1	4.9	3.2	-8.1	18.2	5.6
来期予測	7.0	19.9	20.2	7.7	24.8	17.7

## ●採算

【業種別「採算」グラフ】



今期の採算 DI(総合値)は 1.6(前期比+3.8 ポイント)にやや改善し、平成 17 年 4 月~6 月期調査以来のプラス値での着地となった。

業種別では、小売業(▲7.9(前期比+12.0 ポイント))が大幅に改善したほか、製造業(▲8.5(前期比+7.4 ポイント))と卸売業(1.8(前期比+6.6 ポイント))の改善が目立った。

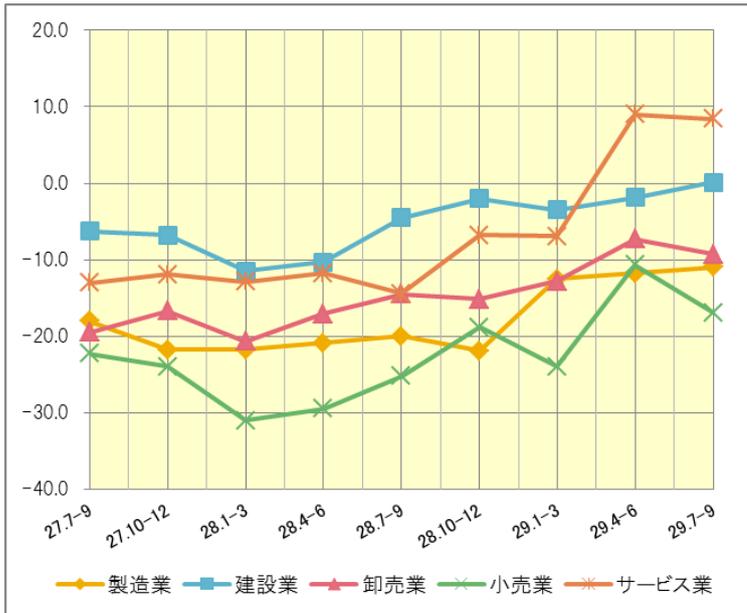
来期は全業種でプラス値の予測であり、いずれの業種においても今期より改善を見込んでいる。

業種別「採算」実績・予測値

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合
前期末予測値	-4.2	15.3	12.5	2.2	22.6	12.6
今期実績	-8.5	0.7	1.8	-7.9	10.9	1.6
来期予測	0.5	6.6	16.2	1.9	21.9	11.5

## ●資金繰り

【業種別「資金繰り」グラフ】



今期の資金繰り DI(総合値)は▲3.3(前期比-1.0ポイント)と、前期からやや悪化した。

業種別では、小売業(▲16.9(前期比-6.2ポイント))の悪化が目立った。建設業は0.1(前期比+2.0ポイント)とプラス値となったが、これは平成19年1月~3月期調査以来である。

来期は、製造業、建設業、卸売業、小売業でマイナス値の予測となっているが、サービス業では大幅な改善予測となった。

業種別「資金繰り」実績・予測値

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合
前期末予測値	-9.8	8.7	0.4	-5.0	9.7	2.7
今期実績	-11.0	0.1	-9.3	-16.9	8.4	-3.3
来期予測	-5.0	-2.3	-0.9	-5.8	15.7	2.1